

議会だより



日本一人口の多い村

題字：山^{やま}内^{うち} 紬^{あや}音^ね（渡慶次小学校6年生）

61号 2015年3月
定例議会



村民参加のハーリー大会は
大きく盛り上がりました！



見事チームワーク賞受賞！



初参加の議会チーム

主な目次

- H27年度一般会計予算……P4～5
- 一般質問……P8～19

平成27年 第437回 臨時会 議決結果

件 名	議決結果
平成26年度読谷村一般会計補正予算（第7号）	原案可決
陸軍大尉による警察官への暴行事件に対する意見書	原案可決
陸軍大尉による警察官への暴行事件に対する抗議決議	原案可決
※ 上記の議決結果は全会一致です。	

平成27年 第438回 定例会 議決結果

件 名	議決結果
平成26年度読谷村一般会計補正予算（第8号）	原案可決
平成26年度読谷村診療所特別会計補正予算（第5号）	原案可決
平成26年度読谷村国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	原案可決
平成26年度読谷村後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	原案可決
平成26年度読谷村下水道事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
平成27年度読谷村一般会計予算	原案可決
平成27年度読谷村診療所特別会計予算	原案可決
平成27年度読谷村国民健康保険特別会計予算	原案可決
平成27年度読谷村後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
平成27年度読谷村下水道事業特別会計予算	原案可決
平成27年度読谷村水道事業会計予算	原案可決
読谷村職員定数条例の一部を改正する条例	原案可決
読谷村一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
読谷村行政手続条例の一部を改正する条例	原案可決
読谷村土地開発基金条例の一部を改正する条例	原案可決
読谷村税条例の一部を改正する条例	原案可決
読谷村税の特例に関する条例を廃止する条例	原案可決
読谷村保育の利用等に関する条例	原案可決
読谷村保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
読谷村児童館設置及び管理条例	原案可決
読谷村教育長の勤務時間、休日、休暇及び職務専念義務の特例に関する条例	原案可決
読谷村立幼稚園保育料条例	原案可決
読谷村立幼稚園一時預かり保育料条例	原案可決
読谷村体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
読谷村企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
指定管理者の指定（座喜味コミュニティー施設）について	原案可決
指定管理者の指定（読谷村交流体験館海の家）について	原案可決
読谷村議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
読谷村特別職の職員の給与等並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
※ 上記の議決結果は全会一致です。	

③ 読谷村議会 だより

平成27年 第438回 定例会 議決結果

件名	議決結果
読谷村教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
人権擁護委員の推薦（岸本幸子氏）につき意見を求めることについて	適任
教育委員会委員の任命（大城茂一氏）について	同意
監査委員の選任（比嘉進氏）について	同意
平成25年度読谷村教育委員会事務点検・評価の報告について	報告
専決処分報告（平成26年度村道中央残波線整備工事（2工区）請負契約の変更について	報告
専決処分報告（平成26年度村道楚辺座喜味線整備工事（2工区）請負契約の変更について	報告
軍用地に係る固定資産税の減免措置について	採択
村道楚辺座喜味線早期整備に対する支援要請	継続審査
県民に大きな不安と恐怖を与えた相次ぐ米軍機による部品落下事故に対する意見書	原案可決
県民に大きな不安と恐怖を与えた相次ぐ米軍機による部品落下事故に対する抗議決議	原案可決
所得税法の「寡婦控除」規定の改正を求める意見書	原案可決

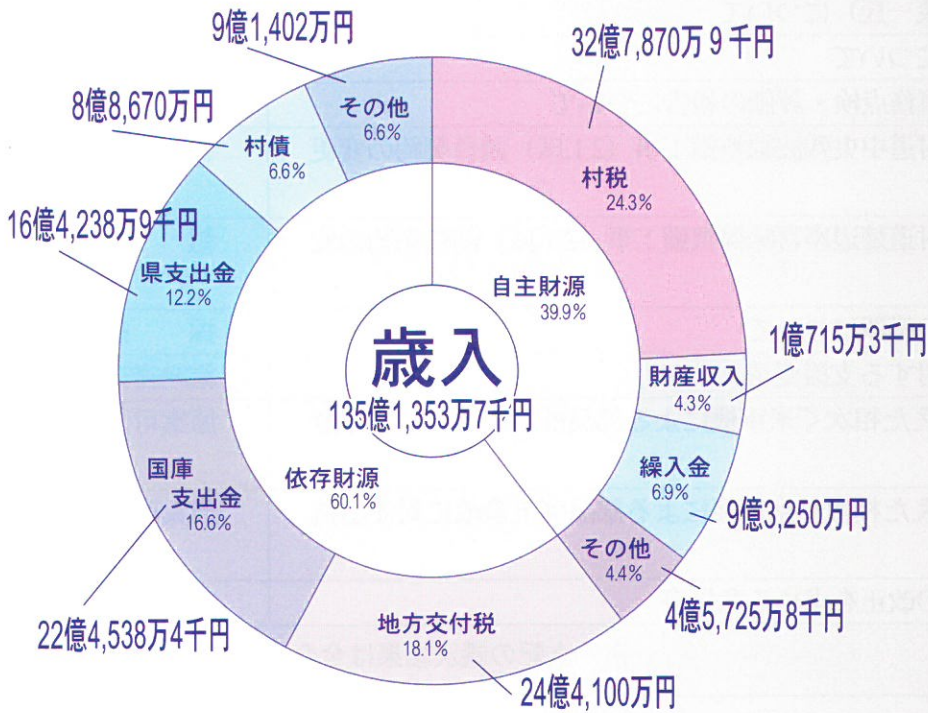
※ 上記の議決結果は全会一致です。

件名	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
		氏名	與那覇徳雄	知花徳栄	新城昭彦	山内政徳	山城正輝	仲宗根盛良	仲眞朝雄	新垣修幸	當間良史	比嘉幸雄	津波古菊江	上地利枝子	上地栄	伊佐眞武	長浜宗則	神谷嘉栄	城間勇	國吉雅和	伊波篤
読谷村特別職の職員の給与等並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大浦湾・辺野古周辺海域とキャンプ・シュワープゲート前における海上保安庁と沖縄県警及び米軍による過剰警備に抗議し、辺野古新基地建設工事の即時中止を求める意見書	原案可決		○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○
大浦湾・辺野古周辺海域とキャンプ・シュワープゲート前における米軍の過剰警備に対する抗議決議	原案可決		○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○

※議案賛成者は○とし、反対者は×とします。退席者は-、欠席者は欠としています。

議長は採決に加わらないため、斜線としています。法律により、採決に加われない議案については、除と表現しています。

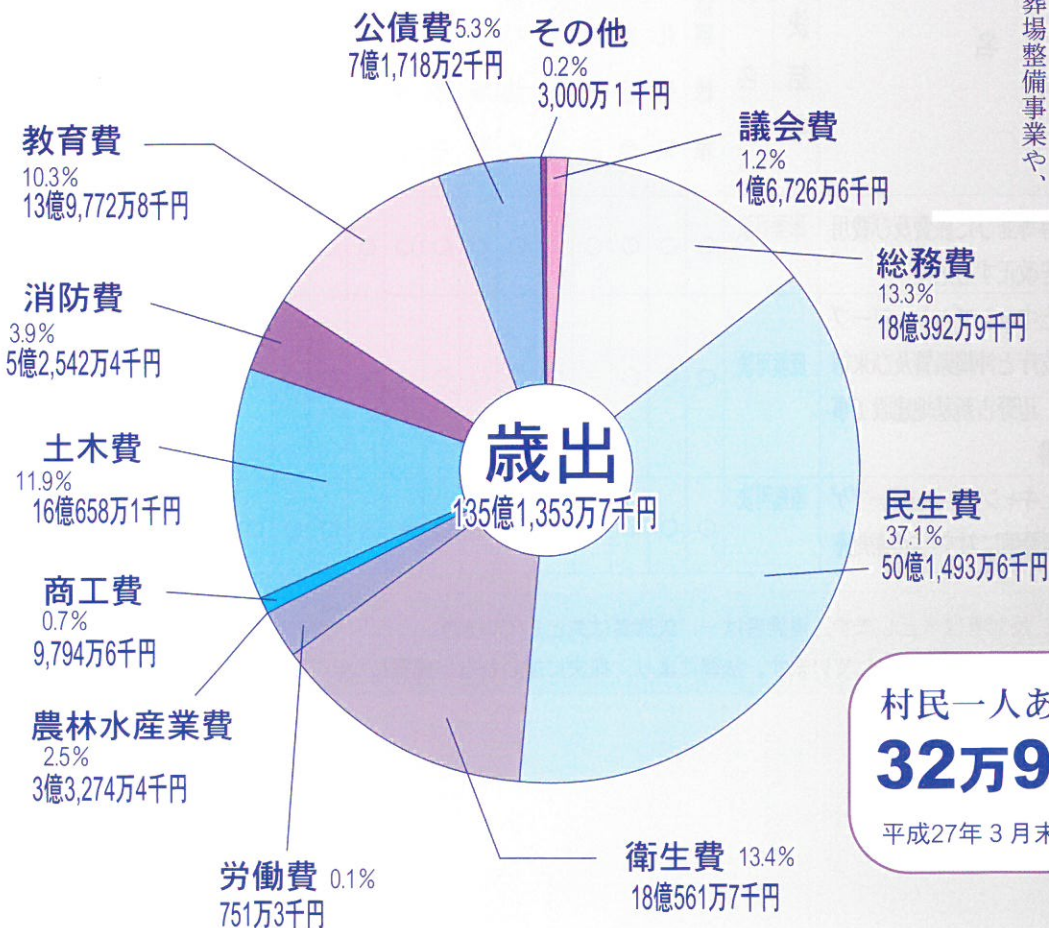
一般会計予算



平成27年度読谷村一般会計予算が、3月定例議会において認定されました。一般会計の歳入歳出予算の総額は過去最高の135億1,353万7千円となり、対前年度比8億8,219万8千円(7.0%)の増額となっています。

歳入予算における自主財源と依存財源の割合について、自主財源53億8,404万4千円で39.9%、依存財源は81億2,949万3千円で60.1%となっています。自主財源は繰入金等の増加により、前年度に比べ4億4,485万円(9.0%)の増、依存財源は地方消費税交付金、国庫支出金等の増により、前年度に比べ4億3,734万1千円(5.7%)の増となっています。

また、主な増額の理由として、読谷村地域振興センター整備事業や火葬場整備事業や、火葬場整備事業は、平成28年10月の供用開始を予定しています。



村民一人あたりの支出額
32万9,237円
 平成27年3月末人口 4万1,045人

平成27年度

(単位：千円、%)

特別会計予算認定

診療所特別会計

2億3,908万8千円

前年度比較 (%) 4.8増

国民健康保険特別会計

68億4,225万4千円

前年度比較 (%) 15.2増

後期高齢者医療特別会計

3億6,570万7千円

前年度比較 (%) 3.8増

下水道事業特別会計

4億638万8千円

前年度比較 (%) 9.2減

水道事業会計

11億2,808万円

前年度比較 (%) 3.3減

合計

89億8,151万7千円

前年度比較 (%) 8.3増

区 分	年 度	平成27年度	
		決算額	構成比
自主財源	村 税	3,278,709	24.3
	分 担 金 及 び 負 担 金	101,713	0.8
	使 用 料 及 び 手 数 料	273,658	2.0
	財 産 収 入	586,468	4.3
	寄 附 金	1,000	0.0
	繰 入 金	932,500	6.9
	繰 越 金	80,887	0.6
	諸 収 入	129,109	1.0
	小 計	5,384,044	39.9
依存財源	地 方 譲 与 税	70,797	0.5
	利 子 割 交 付 金	6,302	0.0
	配 当 割 交 付 金	7,916	0.1
	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	9,449	0.1
	地 方 消 費 税 交 付 金	469,074	3.5
	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	16,197	0.1
	自 動 車 取 得 税 交 付 金	6,386	0.0
	国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	71,517	0.5
	施 設 等 所 在 市 町 村 調 整 交 付 金	241,968	1.8
	地 方 特 例 交 付 金	11,414	0.1
	地 方 交 付 税	2,441,000	18.1
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	3,000	0.0
	国 庫 支 出 金	2,245,384	16.6
	県 支 出 金	1,642,389	12.2
	村 債	886,700	6.6
	小 計	8,129,493	60.1
	歳 入 合 計	13,513,537	100.0

自主財源

村が自主的に収納することができる財源。財産収入、固定資産税、村民税など。

依存財源

国や県から割り当てられる補助金や交付金。

意見書・抗議決議

「陸軍大尉による警察官への暴行事件に対する意見書・抗議決議

第437回

可決

1. 勤務時間外行動指針（リバティー制度）の緩和を撤回すること。
2. 米軍人・軍属の綱紀粛正を真剣に取り組み、その結果を公表すること。
3. 事件の徹底究明と再発防止策を速やかに公表し、実行すること。
4. 容疑者を厳重に処罰し、詳細を公表すること。

平成27年1月14日

沖縄県読谷村議会

県民に大きな不安と恐怖を与えた相次ぐ米軍機による部品落下事故に対する意見書・抗議決議

第438回

可決

1. 安全管理を厳重に行い、事故の再発防止の徹底を図ること。
2. 事故原因を徹底的に究明し、その結果を速やかに公表すること。
3. 住民居住上空での飛行訓練を禁止すること。

平成27年3月4日

沖縄県読谷村議会

大浦湾・辺野古周辺海域とキャンプ・シュワブゲート前における海上 保安庁と沖縄県警及び米軍による過剰警備に抗議し、辺野古新基地建設工事の即時中止を求める意見書・抗議決議

第438回

可決

1. 辺野古新基地建設のための諸工事を直ちに中止すること。
2. 陸上・海上における県民の正当な抗議活動への弾圧、過剰警備を直ちにやめること。

平成27年3月4日

沖縄県読谷村議会

所得税法の「寡婦控除」規定の改正を求める意見書

第438回

可決

平成27年3月26日

沖縄県読谷村議会



平成26・27年度 主な事業施策

平成27年4月1日開所 シルバー人材センター

平成27年
5月18日開館
「みらい児童館」



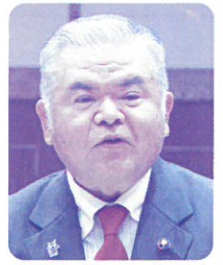
読谷村火葬場
完成予想図



中央残波線が県道6号線に接続

楚辺座喜味線が県道12号線に接続

Q 村政に問う!! 一般質問



上地 榮

トリイ通信施設との防災協定については必要があれば検討する

問 トリイ通信施設との緊急車輛の通行協定と防災協定の締結について伺う

トリイ通信施設内の台風による海岸浸食の恒久対策は

答 平成24年9月の台風16号被害については米軍が土嚢袋で応急処置をしたが、今後については日本政府の予算で恒久的対策を行う。具体的には、平成27年度から平成28年度にかけて文化財調査及び測量設計を実施し、その後本工事を予定している。

答 ニライ消防本部と在日米陸軍施設管理沖縄支局との間で消防相互援助協約が締結されている。防災協定については、みだしの通りである。

楚辺浄化センターの流域拡大については楚辺の皆さんの同意なしでは進められない

問 楚辺浄化センターは今でも臭気がひどく、これ以上の拡大は問題があると思うが、なぜ拡大するのか

答 今回の都屋地区一部編入については、楚辺処理区全体計画に基づき、楚辺浄化センターの処理槽を増設することにより都屋区域まで流域拡大をし、環境汚染の改善を図るためである。



台風による侵食現場

問 当施設は平成8年に楚辺のみの処理施設として出発したが、平成14年に大添区域まで、村の事情により拡大するに至った。その時は楚辺の区民総会で話し合い、当時の安田慶造村長と上地哲区長の間で「覚書」を締結し流域入域になっている。このことについて把握しているか

答 「覚書」の記録は持っている。大添地区を入れる時からいろいろ長い間、時間をかけてご理解いただいて導入することができた。今回の件についても一方的に進めるつもりはなく、できる限りのことをして理解を得ていきたい。

大湾付近を流れる伊良皆大湾排水路の環境対策と安全柵は

問 同排水路の上流に位置する世帯からの排出された生活雑排水が適切に処理されていないのが原因である。対策としてチラシを配布し啓蒙している。安全柵についてはガードレールが設けられている。

地方創生対策として、人口減少問題、若者の雇用創出が叫ばれているが本村の対策は

答 本村の人口は二〇二五年で4万5千人を予想している。今後は地方版総合戦略の策定に取り組む。

海岸に打ち上げられた流木等の処理について

答 塩分を含んだ流木等は役場が回収した後、比謝川行政事務組合の環境美化センターで処理する。



新垣 修幸

問 観光も含め7次まで考えたことは

答 相談があれば取組む。村内は素材が豊富にある。農家レストランの考えは

答 全国的にはファーマーズの隣や道の駅等にでき大変好評地域の雇用創出もある。農家や団体等があれば実現に取組む。

農業を主体とした6次産業化情報の共有化と発信による地域振興にどう取組むか

答 読谷地域振興センター(仮称)キッチンスタジオで生産物の1次加工や商品開発を行い、読谷ブランドの機能創出及び観光協会、FMよみたん、JA、商工会等が同じ館で業務を行う。各々の情報を共有し連携する。地域情報を発信することで6次産業の発展地域全体の活性化を図る。

問 キッチンスタジオにはいるのは

答 JAの女性部を想定

問 認定を受けた県内村内の数は

答 県内54件内村内1件

問 現在6次産業の全国的規模と販売額は

答 お答えしかねる。

問 国は今年から4万人の食のプロを養成し国として認定する。6次産業化に行政が強靱な指導力を発揮すべき

答 読谷らしい6次産業をやって行く。

提言 6次産業は、国の試算によると1兆8千億円、二〇二〇年まで20兆円の政府目標である村も目標年次と数値をしっかりと設定した方が良い

本村の教育は創造性国際性社会に富み、社会に貢献できる人材の育成と生涯学習の振興を目標に掲げ人間性豊かな人材育

←

成に努めているとある。これまでの成果と今後の取組を伺う

答 本村は基本理念をもとに教育目標とし変化する社会の中で生き抜く力と生涯を豊かにするためのトータルを目標としたものその成果は一括りで評価できるものではなくその時々において個々それぞれの判断に委ねられるものと考えます。

問 教育も日本一を目差すことを目標に据えては

答 今以上にやる気にさせるように確かな学力豊かな人間性健康体力の三要素のレベルアップを図り目先のことにとらわれず米百表の精神で頑張る。

問 日本一文教の村読谷を掲げては

答 相談しながらきめていく。

日本一健康で活力のある「健康の村」ガンジューヌシマ実現にどう取組むか

答 健康実態を具体的に把握



読谷村 健康増進センターを
活用しましょう！

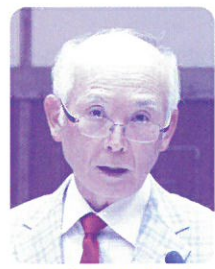


歓迎！よみたん民泊 入村式

民泊事業の現状はどうなっているか

問 民泊受け入れ人数と直接的な経済効果はいくらか

答 92世帯で1万5千人が入村し、直接効果は約1億2千万円です。



仲宗根盛良

問 今後のリーダーの相乗効果をどう見ているか

答 体験滞在を経験した生徒達が将来は社会人となり、本村に観光で訪れる事が大きく期待できる。

28年度までには計画したい。

脱退者が45世帯121人です。

行政評価システムはいつまでに導入可能か

沖縄戦から70年知事訪米に同行の考えは

問 平成25年12月議会で「試行できるようにスピード感をもってやってみよう」と答弁されたが、その経過と方向性について聞きたい

答 ①実施に役立つ情報を得ること。②見直しや改善に役立てること。③説明責任が果たせることを目的に取り組み、今年度は政策的経費を中心に事務事業評価の実施を予定している。職員自主研修制度の強化を求める。

問 現行の半額補助を10割補助に変更し、研修派遣する考えはないか。

答 変更の考えはない。

問 課題としてはどういうものがあるか

答 食材に関するアレルギーの対処や受け入れ民家の育成などがある。

子ども議会の実施に向けて学校側の考えは

問 子ども議会に向けての課題は何か

答 生徒は部活動、塾など放課後にも様々な活動があり、多忙になる。また、子ども議会の議員は一部の児童生徒である為、授業としては成り立たない。

新しい自治会組織への加入状況は

問 平成27年3月現在の自治会への加入者は何人か

答 加入者が67世帯27人で、

問 実施はいつ頃までに可能であるか

答 学校側から出されたいくつかの課題を真摯に受け止め、課題を解決し、平成

問 平成27年3月現在の自治会への加入者は何人か

答 加入者が67世帯27人で、

答 積極的に行動を展開する。

問 集団的自衛権の行使が始まろうとしている。地域でどのような活動が必要か。

答 2度と過去の過ちを繰り返さない為にも、村民と共に積極的に平和行政に取り組む。

問 沖縄県民の民意実現の為にも、米国への訴えなど「オール沖縄」の行動が重要であり、訪米行動に同行するか



比嘉 幸雄

なかなか出来ないというよう
な回答をもらっている。

問 県道6号沿い、村道波平
残波線沿いの消灯している
防犯灯について説明を求
めます

問 安心・安全な村づくり
から 村内駐在所再編によ
る新たな防犯体制の説明を
求めます

答 楚辺駐在所につきまし
ては、今回の再編には含ま
れていないということで、
存続します。古堅駐在所に
つきましては、夜中は警察
官がいなく状況であったのが、
24時間ずっとではないです
が、パトカーが勤務して内
勤に代わる時に警察官がそ
こに配置されていくという
ことで、夜中でも警察官が
いることになり、その分強
化になってくると考えてい
ます。

問

問 読谷村の中心部に交番
がない事の現状に対して意
見を求めます

答 新規で交番や派出所を
設置するのは県全体ではな

ねないがその件について答
弁お願いします

答 状況としては非常によ
くないという認識もしており、
早急に対応するものは早急
に対応していきます。また
まった予算をかけて対応が
できるよう内部で検討します。

問 国道読谷バイパス道路
の防犯灯を72件村道波平
残波線沿いの防犯灯を2件
修繕していますが、消灯し
ている全ての修繕には至っ
ておりません。

問 国道読谷バイパス道路
の必要性は

答 読谷道路が平成32年度
嘉手納バイパス道路を含め
ると平成42年度開通目標、
西海岸道路につきましては
管理機8回となっております。

答 月額、定額になります
ので支払われています。

問 消灯している防犯灯の
中には灯具がない

灯具のカバーがない、球が
ないなど電気の充電部分が
露出して感電事故になりか

各地区で事業化されている
ところで、村道中央残波線
から沖縄自動車道を結ぶ東
西横断道路も必要だと考え
ている。

問 一括交付金を活用して
農機具を購入し、貸し出し
ていると聞くその状況、実
績は

答 年間を通して多様な野
菜を安定的に生産できる環
境を構築するため、トラク
ター1台耕うん機2台、管
理機2台を購入し貸し出し
ています。実績で、トラク
ター53回、耕うん機14回、
管理機8回となっております。



国道58号線における
朝の渋滞解消を！



國吉 雅和

村に被害を及ぼす地
震は海溝型地震

問 全世帯に配布された「地
震・津波ハザードマップ」
について

答 全電源喪失時は、約五
十時間非常用発電機で対応し、
防災行政無線はバッテリー
電源で約72時間対応可能。
全自治会長の東日本大震
災被災地研修事業の成果は、
災害に対する備えや地域の
つながりが重要であること
を学び、5自治会が毎年防
災訓練を実施し減災や防災

意識の向上に寄与。
村民には、ハザードマップ
の熟読をお願いします。
6会計総額24億9千万円で
最高額。

問 新年度予算の特筆事業
は

答 ハード事業は「地域振
興センター整備事業」
・「火葬場整備事業」。ソフト
事業は、終戦70周年「平和
継承事業」
・高齢者の生きがいづくり
の「シルバー人材センター
運営事業」
・子育て環境の充実の観点か
ら「みらい児童館運営事業」
・村立幼稚園の預かり保育の
拡充を図る「預かり保育事
業」。また、一括交付金事業
3億8千万円(約60%)を
当初予算計
上。



「一読お願いいたします」

問 ラグビー
ワールドカッ
プやオリンピ
ック・パリリ
ンピックの事
前合宿の誘致

について

答 女子ソフトボール、ラグビー等を含め直前合宿候補地の誘致活動に取り組み、介護保険新制度28年4月より実施

問 これまで要支援1と2の人が利用できていた「ホームヘルプ」と「デイサービス」について

答 予防給付（要支援1、要支援2）のホームヘルプとデイサービスは、介護保険制度の改正により地域支援事業に移行するので、新年度は村立診療所や関係機関と協議を行い、制度移行に向けた基盤整備をしていきたい。山城医師と多鹿医師の2名体制

問 民間クリニックも機能する時代における診療所のあり方は

答 医療、予防、生活支援の総合的なサービスが求められ、民間クリニックとの連携や介護の地域資源（23のサービス施設）を最大

限に活用し、山城医師（前

豊見城中央病院消化器内科部長）と多鹿医師（前中部病院救急科医科長）と共に、地域医療に取り組み施設の検討をしたい。新設火葬場の炉の数は2炉

問 総事業費の財源内訳と火葬炉の価格は

答 9億5千万円の事業費の内、国の補助金1億5千万円で残りは、起債、基金、村費を含めた自己資金です。火葬炉1基の価格は約5千万円で必要炉数2炉と予備1炉を加え3炉です。

提言 総事業費の85%は自己資金であり、炉のメンテナンスは高額になること、1体の所要時間は冷却含め約70分で現在の半分の時間です。また、約十年先の人口減少社会を考慮し炉の数は2炉を提言する。



上地利枝子

健康増進センターの運営と今後の展望

問 職員の研修とスキルアップの実施状況

答 職員全体の研修はプールにて救助訓練とAED取り扱いを含む心肺蘇生法の研修を行っています。個別の研修は職員個々の資質向上を尊重し、研修希望時には勤務調整をして対応しております。

問 今後の展望と指定管理について

答 村内唯一の運動指導員が常時配置されている公共の運動施設であり、多世代の生活において健康づくりをサポートし、いつでも利用可能な状態を目指しております。そして医療費や介

護保険料が軽減され、健全な財政運営に寄与し、関係各課と横断的な連携さらに高め、村民の健康増進の中心的な役目として、時代に合う企画運営に力を注いでまいります。増進センターの指定管理についてはただいま医療介護の一体的な改革が始まろうとしており、診療所等の全体改革の中で再度評価し直して、その見通しのなかで検討していきたいと考えております。



多様なメニューで健康づくりに取り組んでいます！

包括ケアシステムについて

問 本村としての取り組みを伺います。

答 今回の介護保険制度の改正の目標として、団塊の世代が75歳以上となる、平成37年に向けて、地域包括ケアシステムを整備し、医療、予防、住まい、生活支援サービスを包括的に確保する体制を整備することが求められています。村として、地域包括支援センターが中心となり、関係者間で「地域包括ケア推進作業部会」を開催し、地域の把握していく話し合いの場を設けております。今後も高齢者が住み慣れた地域でいつまでも自分らしさを保って生活が続けられるよう支援するために、村立診療所や社会福祉協議会、地域の関係機関と協議を行い、対応策を事業化、施策化できるように検討していきたい。

生活困窮者自立支援法の事業について

問 平成27年度より施行されますが村としての対応は

答 この法律は、生活困窮者自立相談支援事業の実施。生活困窮者住居確保給付金の支給、その他の生活困窮者に対する自立の支援に関する措置を講ずることにより、生活困窮者の自立の促進を図ることを目的としております。同法に関連する本村の取り組みは、沖縄県生活困窮者自立支援町村連絡協議会への参加及び地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業を実施してまいります。

その他問

指定管理者の指定「生き生き健康センター」の指定期間と過去5年間の利用状況今後の展望。



当間 良史

「村長施政方針」から真意を問う

問 「農業や農業生産法人等の所得向上や負担軽減を図る」とあるが、認定農家数と、支援に向けての具体的な取り組みを伺う

答 本村の認定農業者数は14経営体で、今後は24経営体まで増やしていきたい。支援については国や県の交付金を活用し、ビニールハウスの設置や農業機械購入等の事業導入や、就農を目指す担い手が、青年就農給金の受給に向けた事前相談や事業計画書の作成支援を行っている。またレンタル機械導入事業として、トラクター1台、小型耕うん機2台、管理機を2台購入した事により農家の所得向上に繋がるものと考えてい

ます。

問 「農業を主体とした6次産業化」について本村の取り組みと今後の可能性は

答 商工会青年部と本部町への研修や琉球大学が行う農業推進人材育成プログラムへの参加など6次産業に関するノウハウを吸収しているところ。可能性については、本村には、今まで培ってきた文化と農家がつくってきた伝統的な野菜があるので、それらを組み合わせさせて物語（ストーリー）をつくりながら商品を開発していく事が大事であると考えてる。

「景観地区指定区域」に補助を！

問 平成28年制定予定の景観地区指定区域の概要と制限について伺う

答 読谷村の景観計画の重点地区として、座喜味城址周辺エリア、村民センター

エリア、西海岸リゾートエリア、西海岸水辺環境保全エリア、残波岬地区周辺エリアの5つのエリアを設定している。座喜味地区ではパツファーゾーンと同一地区と考え建物の高さを第一種低層住宅地域（10メートル以下）赤瓦、生垣や石材など自然素材が望ましいと考えている。

問 全国的に景観地区指定区域に対し建造物等の改修にかかる費用の補助金があるが、本村の対応は

答 補助制度は予定していないが、補助金について他の地域の事例があるので研究していきたいと考えています。

座喜味区県道12号線周辺の課題点

問 ①国道バイパス道路との交差点付近のコンクリート電柱が歩道の中央に移設され大変危険である ②座喜味区内の信号機が設置された三叉路の歩道に段差が

あり通行しづらい

答 ①中部土木事務所問合せ3月中旬に電柱の移設を予定②段差のある歩道についても平成27年度中に切り下げ工事を予定している。



歩道中央に設置された電柱

行政区について



新城 昭彦

問 自治会や役場に、行政区民や自治会員の方からの意見や要望、苦情等はあるか

答 4月より数件あり、「広報よみたんが届かない」がほとんどで、意見・要望については、自治会と行政区の運営は将来どうなるか。行政区と自治会は1つとして運営したらどうか。

問 自治会のゆいまーる事業に区域の皆さんは何名くらい参加しているのか

答 新しい制度がスタートして6区域で10人参加している

年11月に提供している。

問 行政として行政区域の方に自治会加入についてのとりくみは

答 役場住民年金課の窓口において、転入・転居等の住所移動時にチラシの配布を行う。

旧読谷中学校跡地利用の進捗状況について

問 校舎側は商業地と医療施設（案）とあるが、現在の状況は

答 旧読谷中学校跡地の校舎部分については、現在用地域の見直しや地区計画の策定」にむけた作業を行っている。

問 運動場側は住宅地域の配備（案）とあるが、現在の状況は

答 運動場部分については、住宅地を想定しており、まずは校舎側を優先して跡地利用を進め、その後運動場部分の跡地利用を行って行きたい。

質

問



問 商業施設とはスーパー等の理解で良いのか、また誘致希望者の方のオフアワー等あるか

答 スーパーと言う想定で買い物が出来るような事を考えている。業者の皆さんからは魅力的な場所であると聞いている。

問 医療施設については村民からの声がある総合病院等も考えられるか

答 入院施設を持たないクリニックを考えている。ベット数は県が計画で管理されて中部地区で決まっている。現計画の中で入院施設を持つ病院は今、読谷では作れない法律的な制約適用を受け、総合病院の想定は今はない。

問 運動場は、野球やソフトボール等利用が多い。東側にサッカーやバスケットリンク等の設備が出来ないか

答 一般的に地域の多目的に上地・波平の皆さんが使えるような形で配慮したい。

提案は検討したい。



旧読谷中学校跡地

波平原く都屋大当線について

問 村道中央残波線と波平前原線の交差点の通行は

答 楚辺通信跡地側からの残波線へ乗り入れが出来ない。県道6号線側からの車両は、右折、左折が可能。6号線からの縦線の接続は3路線については、波平原く都屋大当線のように左折、右折が出来るようになる。



津波古菊江

問 榮橋の復元について

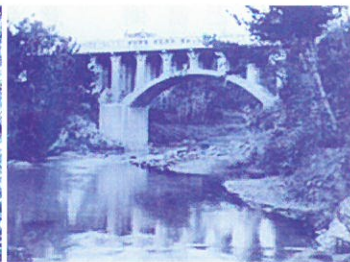
- (1) 文化財、
- (2) 道路(牧原から嘉手納高校へ抜ける道)
- (3) 平和学習、観光資源としての活用について伺う。
- (4) 読谷村、嘉手納町と昭和56年の都市計画の中で必要として計画された道路と、思うがその後の経緯について伺う。

答 読谷村文化財めぐりや戦跡めぐりの冊子で橋の歴史を紹介しており、見学を希望する時は嘉手納側から案内している。

榮橋は都市計画道路虎地原線として位置づけ、昭和56年に都市決定されているが、平成11年3月に軍用地返還その後ゴルフ場開発計画があり虎地原線の予定区域を確保して開発許可され現在に至る。第3次読谷村道路

整備プログラムでは村民センター地区や多数の村道整備を行っている。財政のスタミナや年間の道路整備の予算も考慮し評価すると10年以降と位置づけている。

議員の言う戦後処理もメニュー等が新しく出て来た時々でも財政状況や事業の進捗状況で変動あると大条項につけてあるので、時期、メニュー、社会情勢が変わってくるかと前向きに検討していきたい。



かつての榮橋



現在の榮橋

問 子ども医療費の通院費の助成を中学校まで拡大して無料化する事について

(1) 読谷村では中学卒業までの入院費の助成、就学前までの通院費の助成が実施されているが県が通院費の助成を就学前まで拡大する方針を決めたが当村では更に中学卒業まで助成してはどうか

答 課題として財源の確保があり、国、県の動向を踏まえ安定的財源の確保をする事で努力していく。

問 村道水釜く大木線(ファミマ古堅店前)に信号機を設置する事について

地域から要請が出されて10年以上経過した現在も交通量が多く横断歩道を渡るにも非常に危険な箇所、歩行者の安全確保の為に必要と思うが見解を伺う

答 県知事宛に中部地域の信号機設置要請を村から古堅を含め18ヶ所行い5ヶ所

設置されていて毎年公安委へ上申している。

問 村道中央残波線と村民センター線交差点付近に、公共施設等の案内板(道路標識)の設置が必要と思うが見解を伺う

答 案内板は必要と認識、現在補助事業の有無、予算配分等の調整をおこなっている。

問 渡具知の泊城公園ビーク内にシャワールームの整備が必要と思うが見解は

答 現状を受け入れた上で管理なので要望として捉えておく。

問 事業が軌道に乗るまで時間がかかると思うので費用の折半や1/3等の相談は出来ないか

答 泊城の管理の在り方等を踏まえて相談を受ける。



与那覇徳雄

長寿調査検証事業について

問 長寿調査検証事業の成果と課題は

答 平成25、26年度ゆいまーるボランティア60人長野県の地域介護予防、健康増進を研修。学んだ「介護予防体操」を実践し、地域に普及展開している。

問 長野県民は健康長寿に対する意識が高いとのことですが若年層も高いと理解しているか

答 病院を中心とした地域医療の充実。住民の積極的な健康意識。若年層にも浸透していくと感ずる。

問 「介護予防体操」を取り入れている公民館は何カ所、ゆいまーる以外では

答 22カ所で実施、地域包括支援センターが実施ゆいまーる事業について。

問 ゆいまーる事業の費用対効果は

答 ゆいまーる事業の継続実施が介護予防の効果を上げた一つの要因で保険料の減額に反映されたと考える。

問 平成26年度の対象者とボランティア数は

答 利用者916人、ボランティア616人。

問 事業効果は

答 ゆいまーる利用者全ての方が要介護1で認定されたサービズ利用した場合、年間約17億円係る試算である。

読谷村陶芸研修所について

問 管理指導できる委託員

答 27年度から施設管理、技術指導、ガス窯管理の3委託に分け管理運営を行う。

問 陶芸教室やサークル活動は次年度どの様に行うか

答 陶芸教室、サークル活動はこれまで同様に開催、利用して頂く。

問 陶芸サークル代表者を集めて状況説明したか

答 状況説明をし、意見交換を行った。

問 技術指導員の採用が出来たと理解しているか

答 技術指導して頂く方の目途がある。

読谷村陶芸研修所について

問 管理指導できる委託員

回まで村商工会へ補助金を交付、大会委員として位置付け。

問 観光振興の一環で「ちゅーばーリーグ」へ村観光協会を通じた支援の考えは

答 支援について村観光協会より要請はないが協会と意見交換をする必要がある。

問 地域経済効果は

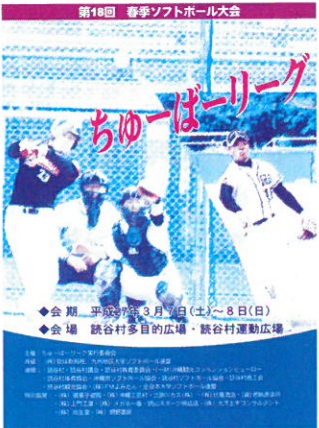
答 過去15回の直接経済費として5千494万9千104円。

問 宿泊斡旋や地域特産の販売等商工観光課の積極的関わりを期待しているか

答 大学チームに宿泊等の斡旋を行っているが予算面で制限がある。

スポーツコンベンション等の誘致について

問 「ちゅーばーリーグ」への商工観光課の関わりは



山城 正輝

戦後70年目「読谷村平和宣言」を発表すべきことと議会提案でやったらどうか

問 戦後70年の節目で何らかの平和宣言を高らかに発表すべきではないか。

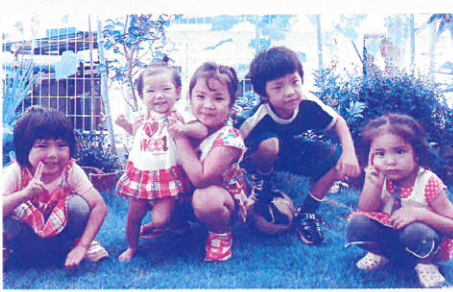
答 村民1人ひとりが改めて平和について考える機会を創出していきたい。

国県の動向を踏まえ拡大へ努力する。

問 県が3才から就学前まで拡大するということなので村への補助金が増加されることになる。その分を活用して、村はこれまでの就学前から中学卒業まで拡大すべきではないか

答 県内で中学卒業まで助成している市町村は11カ所であり、高卒までは4カ所ある。国においては、方向性としては山城議員のおっしゃるような助成増の形だと考えている。

小中学生不登校、いじめ対策はどうか 不登校生50名、生命身体被害者報告はゼロ



この子らに戦後70年に続く崩れぬ確かな平和を！

問 川崎市中学生殺人事件は悲惨である。1週間以上不登校な子らへの対応は、どのように行っているか

答 無届欠席があったら、担任から保護者へ連絡し、それでも度重なる時は、校内でケース会議を持ち、支

子ども医療費の無料化助成を中学卒業まで拡大すべきこと

内

支

援する。更に改善されない場合は、児童相談所等の関係機関を含め協議し、支援に努めている。

陸上競技場北「せせらぎ広場」を整備すべきこと⇕自治会、利用者との協議する。

要支援者への「訪問・通所」介護は、いつから開始か⇕平成28年度から移行予定

問 バックネット裏の陥没は旧飛行場内のドラム管排水管と関係ないか。車両乗り入れ対策はどうするか

問 利用者は何件で全国市町村の73%がサービスの見通しがついていないといわれるが村はどうなっているか

答 ドラム管が出たということはない。注視していく。車両乗り入れについては、利用者で対策して欲しい

答 「訪問」65件(11%)、「通所」164件(29%)。平27年度は基盤整備し、平28年度移行予定。

県道12号座喜味アマガ一橋ーキジヤマガ一橋間に横断歩道を設置すべきこと⇕公安委、地域自治会長らと協議する

座喜味4班村道から鉄塔への里道を整備し、地域の皆さんが利用できるようにするべきこと⇕周辺の土地利用状況などを踏まえて検討する必要がある。座喜味区には、他に不利用里道がかなりある。

問 キジヤマガ一橋からナカヌカー通りへの計画は、どうなっているか

答 必要な箇所、要請などを踏まえて設定する予定。



山内 政徳

ゲートボール場の水道料金について

問 高志保での出前会議で、区民から3カ所のゲートボール場の水道料金が高い設定になっていると、減免措置ができないか要望があったが可能かと思うが

答 高齢者福祉の観点で全体的に考えていきたい。

認可外保育所の固定資産税について

問 読谷村の子育て支援の立場から、認可外保育所の固定資産の減免措置が出来ないか

答 「目指そう！育てよう！子育て日本一の村！」に向けてですね、今議員提案のことも含めて鋭意検討していきます。

問 公園等に子供達が楽しく遊べる、規模の大きな遊具等を設置できないか

答 規模的に600平方メートル一般的に県内にある大型遊具ローラー滑り台などトンネルくぐり幼児用滑り台などトンネルなど残波公園サッカー場北東側隣接地へ設置する予定です。

問 読谷村の海岸線をもっと景観の美しい場所に出さないか

答 読谷村、山、川、海の一体的な地域づくり、海も14キロも自然な海岸があった600ヘクタールの礁池(イノー)があり観光客に見せてリピーターとして海岸を保全し未来永劫に続いていくように、景観を作っていくしたいと思います。

コミュニティバスの現状

問 コミュニティバスの運行にかかる費用に、国の補助メニューがあると聞いているが読谷村も利用できないか(社内広告も可能では)

答 今後、補助事業の導入について、国の担当者との協議を行ってまいります。社内広告につきましても、運転に支障がない範囲で承認をいただいた場合に可能となります。

水釜く大木線の渋滞について

問 比謝川大橋から嘉手納町までの渋滞について、嘉手納町と協議したことがあるか。またこの地域の渋滞をどう思うか(嘉手納漁協方面に右折帯を)

答 比謝川行政事務組合という一つの組織がありますので、いろいろお話し合いをさせていただきたいと思えます。

問 読谷村の平成27年度の待機児童は

答 77名です。また認可園を2園増し29年度で解消をめざして努力していきます。

問 地域住民生活等緊急支援のための交付金、利用についての考え方は

答 プレミアム商品券は商工会のほうにということで2割ぐらいのプレミアムつきの商品券になると思います。

問 もう一つの地方創生型については、中学生までの通院費無料にできるチャンスでは

答 医療関係に使えますとの情報は持っておりませんが、宿題として情報は取っていきたく思っております。



朝、夕の渋滞が問題な比謝川大橋



城間 勇

第7回村民との意見交換及び議会報告会より

問 楚辺駐在所の存続と古堅駐在所の廃止と体制の強化について

答 楚辺駐在所については、存続する。古堅駐在所は、廃止後はパトカー勤務の詰所になる。

問 読谷警察署の実現にむけてお伺い致します

答 嘉手納警察署の建て替えにつきましては、向こう10年は計画がない、建て替えの際には、読谷村に移設できないか調整して、要請してまいります

問 国道58号線沿いに交番の設置について

答 読谷交番の、建て替えの計画が出る際には、移転場所を検討し、要請、調整を行ってまいります。



古堅駐在所から古堅警察官詰所に用途変更になった

もらいたい

答 比謝川の自然環境と調和した良好な市街地環境の形成に向けて、調査が必要な地域と認識しており、道路整備の前に地域の自治会長や関係地権者と話し合ってみたい。

問 下水道のない渡具知海岸は青のりが多く家庭排水の影響がおおきいのは、渡具知地域の下水道整備の目処について

答 渡具知地域を含めた都市計画決定区域の変更に取り組んでおります。

問 読谷村全体の下水道整備事業計画について

問 古堅区民は区民負担金年間39万円で道路を使用してきた。村道認定出来るようにしてもらいたい

答 整備を進めている楚辺処理区と喜名地域から古堅地域までを処理する伊佐浜処理区に加え、村北部地域を2処理区に分けた計4つの処理区となっております。

問 古堅松浦原、与那久保原、南古堅保育園の後ろの土地利用もできる道路を通して

問 行政無線が聞き取りにくい地域があるので早期改善を、大添、渡具知地域。

答 次年度、既存防災行政無線の音達調査等を行えるか調整をしている。

平成27年度施政方針より

問 大湾東土地区画整理組合事業に関する村道比謝、牧原線整備事業の進捗状況について

答 事業完了は平成30年度を予定。

問 伊良皆南線、国道58号線の交差点、中央分離帯の改良工事の目処について

答 2ヶ所の交差点部分の工事の発注、入札を最近終了しております。大湾東土地区画整理組合としては、大型店舗の誘致を控えておりますので、道路の整備を急ぐ必要がある。



神谷 嘉栄

村道残波線沿いの瀬名波鏡地原の防犯灯について

問 点いている灯より消えているものも多く、夜間足元が暗く歩行者にとっては危ない状態でありますが、どうお考えでしょうか

答 平成26年度は村道残波線沿いの防犯灯7灯修繕しておりますが、消灯している全ての修繕には至っており

りません。残りは予算の執行状況を確認していききたいと考えております。

問 徒歩で現場の確認をしたところ、防犯灯全37基中心点灯は16基で、消えている灯の21基中19基はカバーも取れ、電球もない状態でしたが、いかがでしょうか

答 ひとつ置きに修繕するような工夫をしながら、なるべく明かりが届くようなことは考えております。

県道6号線の交通渋滞問題について

問 県道6号線沿いの大添地区は、本村の道路整備事



鏡地原付近の防犯灯

質

問

業が完了する平成42年において混雑度が221の渋滞路線と思われるが、交通渋滞問題解決への対策を伺います

答 第3次読谷村道路整備プログラムから県道6号線

大添付近の平成42年混雑度については、大添地域から大木喜名線間で151〜171、大木交差点付近で221となっており、連続的に混雑が発生することが予測されています。緩和策としましては、構想路線となつています(仮称)沖縄読谷線等が実現した場合に混雑度は緩和する見込みとなっております。

村道楚辺座喜味線整備について

問 平成19年3月の第2次読谷村道路整備プログラムで短期整備に位置づけられた県道6号線から村道中央残波線1Km区間の村道楚辺座喜味線整備が、平成26年3月の第3次読谷村道路整備プログラムで長期整備に変更された。その理由と

して、平成26年6月の議会

第41回定例会で、県道6号線から中央残波線区間が暫定整備されたことであると答弁された。現状として暫定整備がなされていますか

答 村道楚辺座喜味線の県道6号線から村道中央残波線までの約900mの内、約600mの区間につきましては、トリイ通信施設付近からの村民センターへのアクセス道路を確保する目的で仮の措置として暫定整備を行っております。

問 歩道は縁石がなく危険な状況だが早急に整備すべきではないでしょうか

答 縁石(歩車道境界ブロック)がないことは好ましい状況ではないと考えますが、整備につきましては、緊急性や財政面などから難しく、歩行者の安全を図る観点から、運転者に対し安全に配慮した運転をお願いしたいと考えます。



知花 徳栄

診療所の医師2人制が叶えられたが、今後の安定運営の取り組みは

答 医師確保ができず、休診とか、看護師の不足する期間が生じる等、患者様には迷惑をおかけしましたが、今後は万全を期すると共に、村民ニーズに応えられるよう、在宅医療にも力を入れて行きたいと考えている。

読谷村診療所診療案内						
診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~2:00	○	○	○	○	○	○
2:00~5:00	○	○	○	○	○	○

診療科目
内科・小児科・皮膚科
リハビリテーション科

医師 山城 正明
医師 多鹿 昌幸

休診日：日曜日・祝祭日

TEL：956-1151

医師2人体制がスタート

問 「税と社会保障の一体改革」で、地域完結型医療、かかりつけ医の普及、ご当地医療が地域ごとに必要になつてくるというが

答 国民会議報告書で述べられているのは、医療改革の個別のテーマになっており、今後、国は改革しなければならぬと言っている。厚労省の作業部会では、今後の具体的な作業が行われ、作業指針や通達、スケジュール等が示されていく。

平成27年度から始まる番号制度についてどのようなものか

答 平成28年1月から社会保障・税・災害対策の行政手続きでマイナンバーが義務付けられ、希望者に対しては交付がされます。村民への周知は村のホームページや広報紙で行う。メリツトとしては行政手続きの申請者の労力等が軽減され、諸証明書の発行が28年10月

からコンビニでも予定。行政側としても事務の効率化が図られ行政サービスの向上に期待できる。デメリットとしては、個人情報の管理がより一層システム化されることにより、情報の漏えい等が起こった場合に大量の情報流出する恐れがあることです。

村県民税額の上位1位から10位までの高額な課税額と、納税義務者1人当りの平均税額はいくらか

答 1位から順に万の位迄1千375万円、929万円、735万円、502万円、484万円、467万円、459万円、458万円、444万円、391万円です。一人当たりの平均額は約13万円になります。

できない中でどう徴収強化を図ろうとしているか

答 26年度から職員の、臨時職2名の増で徴収強化を行っており、滞納者への年間とおして電話催告を初めて実施、差押えが対前年比55件の増、預金、給与、車両等で210件の差押えを行った。次に口座振替の推進により住民税100件、固定資産税400件が増加した。新年度の取組みとしてコンビニでの納付書の種類拡大、26年度迄はコンビニ可能納付書が、当初納付書と督促状でした。27年度からは「再発行納付書」まで拡大、郵便局納付の利便性を高めるため、平成27年度からは納付書だけの納付での納付が可能となります。

平成25年度の村税の収納率が初めて90%を超え91.39%になりました。今後調定額の伸びはそれほど期待

平成25年度の村税の収納率が初めて90%を超え91.39%になりました。今後調定額の伸びはそれほど期待



長濱 宗則

読谷村子育て支援 サービスから

問 支援施設と支援サービスは

答 村立保育所、認可保育園で7時から18時までの保育、延長保育、特定保育、一時預かり、子育て支援センターはばたけ、集いの広場ファミリーサポートセンター等の事業を行っている。

問 新子育て制度の支援サービスの概要は

答 保護者の月の就労時間によって保育標準時間の11時間保育と保育短時間の8時間保育のふた通りになる、保育料はこれまで同様8階層の保育料となる。幼稚園での保育料は、生活保護適用の有無及び市町村民税所得割課税額により5段階層

に区分される。入園料は徴収しない。午後の預かり保育についても充実を図る。

問 読谷村児童館(みらい児童館)の運営と事業内容は

答 読谷村児童館設置及び管理条例で施設管理は村長でこども未来課が施設管理にあたる事業については委託する。



みらい児童館

問 宮古島市では認可外保育園に対して減免を実施している読谷村の考えは

答 子育ての環境条件が変化しているのでご提案の件も含めて検討していきたいと思う。

読谷村の農政から

問 読谷中部地区農業施設、及農地管理の委託の予定と貸付料の予定は

答 現在は農業生産法人に管理委託している。貸付料の設定については、平成28年度換地業務により各圃場が確定する予定で、事業の進捗を見ながら、貸付期間や貸付料の設定に向けて取り組む。

問 認可外保育園の固定資産税減免はできないか

答 租税法第348条、読谷村条地方税法第348条、読谷村条例71条の規定によって減免はできない。

問 過去5年間における企業の進出と雇用数は

答 主なもので5件で、雇用数は137名。

問 就職相談窓口(グッジョブ・サポート読谷)の実績は

答 平成24年度、相談218件、21名就職、25年度、相談252件、26名就職、26年度、相談416件、33名就職

問 渡具知地区リゾートホテルの誘致計画の進捗状況は

答 業者のほうから温泉の採掘工事に伴う搬入路のための防風林帯の一時使用の申請が出ており庁内で検討を重ねている。

問 読谷村は誘致する意思があるのかないのか

答 関係課も集めながら取り組んでおります。後しばらく時間は要すると考えています。

読谷村の雇用創出から

答 誘致は考えていない。



伊佐 真武

現在、整備中の不戦宣言の碑と読谷補助飛行場返還の碑について

問 2つの石碑は平和学習等村内外から多くの人々が訪れる事が予想されます。駐車場も確保されているのか伺います

答 駐車場につきましては今回の工事には含まれておりません。

が米軍や国を相手に何十年にも渡る返還運動により勝ち取った成果であると同時に、跡地利用による本村の村づくりを示す歴史的な記念碑です。村内外から訪れる人々のために駐車場はどうしても必要ですがどうですか

答 当該地区は、第二次読谷村補助飛行場跡地、村民センター地区跡地利用計画の中で、防災拠点広場及び情報センター、村民広場が計画されています。当分は、読谷南側に仮設的な駐車場を検討していきます。



村民センター地区に移設された「不戦の碑」と「補助飛行場返還の碑」

長期計画になつてい る虎地原について

問 大湾東地区内の比謝牧原線が開通した後、牧原線の更なる渋滞が予想されます。その解消のため、虎地原線の早めの整備が求められているのでは。

います。しかし大型バスの出入りの際は、駐車場入口が狭く不便である等、運転手やガイドの方からの声があります。改善できないか伺います

答 今から70年前の4月1日米軍が上陸し、4月2日には83名の方々が亡くなつていきました。亡くなった方々や遺族の方々に深く哀悼の意を捧げたいと思います。

答 虎地原線は、読谷村第三次道路整備プログラムにおいて長期路線に位置付けられていますが、社会情勢の変化によっては、プログラムの通見直しも必要かとおもっています。

平和学習の場である チビチリガマの駐 車場について

問 チビチリガマは、先の大戦の悲惨さを今に伝える最も有名な場所であり、最近では辺野古への新基地移設と絡んで県内外から訪れる人がより多くなっています。平和学習と同時に本村の観光振興にも大きく寄与して

この駐車場問題がどのように改善できるか、バス会社とか関係者と話し合つて意見を伺いながら検討をしていきたいと思ひます。



仲眞 朝雄

公営墓地と米軍基地 内のお墓について

問 公営墓地建設の構想と概要は

答 読谷村火葬場公営墓地土地利用基本計画策定報告書において基本方針を示す新火葬場の南側に4千650平方メートル、169墓の公営墓地を建設する案が最も高い評価となっている。

問 村内で基地内に墓を所有する人の数は

答 米軍施設内の墓地は、墓地台帳整備以前のものがほとんどで、具体的な数字を把握していない。

問 ロッカー式や高層型等も考えるべきでは、また計画案が具体化する時期は

答 アンケート結果では、ニーズが少なかつた。建設時期は未定。

問 基地内の墓を戦後処理の一環として、優先的に公営墓地に誘導できないか

答 ニーズを見ながら先進事例も参考に検討する。



基地内シーミー！
厳しい検問

食育は進んでいるか

問 学校での取り組みは

答 全学校で、教育課程の中で各児童生徒の発達段階に応じた指導を行っている。

問 地域での取り組みは

答 健康環境課において、読谷村食生活改善推進協議会が、一般成人を対象に料理教室等も行っている。

問 社会教育団体での取り組みは

答 PTAが、啓発運動、「お弁当コンテスト」「お弁当の日」等の取り組みをしている。要望は読谷村食育推進会議を機能させ、横断的、継続的な取り組みをしてもらいたい。

問 その経緯と評価は

答 当時、多目的広場周辺は暗く青少年にとって好ましくなかつた。PTA連合会の発案でジュニアフェスタを企画した。まつりにおいて子ども達の居場所ができて盛り上がりを見せ定着しており、村内外から高い評価を得ている。

問 運営体制と課題は

答 運営主催は読谷村PTA連合会、子ども会育成連絡協議会、読谷村青少年健全育成協議会。課題は各団体の役割分担が不明確なこと。

問 今後の方向性、抱負など

答 今後も、読谷まつりにおける子どもたちの居場所を大切に、関係団体とジュニアフェスタの今後について調整していく。

読谷まつり「ジュニアフェスタ」について

『第7回 村民との意見交換及び議会報告会』を開催しました。

読谷村議会では、議会基本条例に基づき、年1回の議会報告会を開催し、村民の意見を拝聴し議会活動の活性化を図っております。

下記のとおり「第7回村民との意見交換会及び議会報告会」を平成27年2月1日～13日の計15自治会公民館で開催したところ、多くの行政に対する要望・意見等がありました。

「村民との意見交換会及び議会報告会」の内容については、議会だより 特集号を発行いたしますので、ご覧ください。

◎A班

【議員】 伊佐 眞武、與那覇 徳雄、上地 利枝子、山城 正輝、長濱 宗則

【場所】 牧原公民館、儀間公民館、伊良皆公民館、座喜味公民館

◎B班

【議員】 國吉 雅和、新城 昭彦、新垣 修幸、上地 榮、神谷 嘉栄

【場所】 古堅公民館、横田集会所、渡慶次公民館、都屋公民館

◎C班

【議員】 仲宗根 盛良、仲眞 朝雄、津波古 菊江、知花 徳栄、伊波 篤

【場所】 楚辺公民館、長浜公民館、大木公民館、大添公民館

◎D班

【議員】 城間 勇、比嘉 幸雄、山内 政徳、當間 良史

【場所】 比謝公民館、渡具知公民館、高志保公民館



村民との意見交換会及び議会報告会の様子

りっかりっか読谷村議会

3月定例会での傍聴者は、延べ51名でした。

平成27年6月定例議会は6月11日(木)からの予定です。

◎議会の日程についてホームページでお知らせしております◎

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

〈お問い合わせ〉

議会事務局 TEL 982-9225